



令和6年度

公益社団法人 日本補綴歯科学会

第1回 専門医研修会

テーマ：口腔機能検査の補綴歯科治療へのフィードバック

抄録集

日時：2024年6月16日（日）10：00～12：00

会場：WEB開催（Zoom Webinar）

主催 公益社団法人 日本補綴歯科学会

理事長 窪木拓男

学会事務局：

〒105-0014 東京都港区芝 2-29-11 高浦ビル 4階

TEL：03-6722-6090

運営事務局：マーケティングインテリジェントオフィス

〒810-0001 福岡市中央区天神 4-6-28 天神ファーストビル 7階

令和6年度
公益社団法人 日本補綴歯科学会
第1回専門医研修会

抄録集

目 次

1. 専門医研修会参加の皆様へ	1
2. 専門医研修会タイムテーブル	5
3. 専門医研修会抄録	7

1. 専門医研修会参加の皆様へ

開催概要

開催方式：WEB 開催（ライブ配信＋オンデマンド配信）

日 時：ライブ 2024 年 6 月 16 日（日）10:00～12:00

オンデマンド 2024 年 6 月 18 日（火）～6 月 28 日（金）

（オンデマンドでの視聴は、単位は付与されません。）

単位について

4 単位（本年度中の専門医研修会への参加回数の制限はありませんが、年度内 8 単位を取得上限とします。）

【単位付与条件】

ライブ配信視聴の場合のみ単位付与します。

ライブ配信開始 5 分後以降の入室，終了予定時刻 10 分前以前の退室には単位を付与しません。

アクセスログで単位登録いたしますので，視聴中の通信環境にご留意ください。

いかなる理由があろうとも，途中退出が認められる場合，単位付与はされません。

後日のオンデマンド配信視聴は，参加費をお支払いいただければ何度でも可能ですが，単位は付与されません。

【日歯生涯研修単位】

日本歯科医師会会員の方は，上記と同じ条件で研修単位を付与しますので，申し込みページに

日歯 IC カード番号（6 桁） を記入して下さい。

【アンケート】

単位取得に必須ではありませんが，ライブ配信終了後，Zoom のチャット機能にて運営よりフォームの URL をご案内しますので，ご協力をよろしくお願いいたします。

参加登録

申し込みは、2段階となっております。管理の都合上、お手数をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

参加費（3,000円）のお支払い方法は、1) クレジットカード決済または2) 銀行振込の2通りとなります。

※登録されるメールアドレスについて

キャリアメール（docomo.ne.jp, ezweb.ne.jp, softbank.ne.jp 等）をお使いの場合、自動返信メールが届かない可能性がありますので、極力キャリアメール以外でのご登録をお願いいたします。

【研修会参加申込フォームはこちら】

https://app.payvent.net/embedded_forms/show/663eba8a6aef20267db6fa6b

（業務委託先の Payvent システム（株式会社 Urbs 運営）に移動します）

<ご案内>

令和6年度は国内企業および他学会の運用実績をもとにセキュリティ対策を講じたシステムを採用いたしました。

プライバシーポリシー

<https://payvent.net/privacy-policy/>

1. 研修会参加申込フォームにて、必要事項をご入力いただき、お支払方法を選択の上、決済画面へお進みください。
2. 参加登録・参加費のお支払いが完了すると、ご登録いただいたメールアドレス宛に自動返信メールが届きます。
3. 銀行振込の方は、登録されたメールアドレス宛に自動返信メールが届きます。そちらのメールに、お振込み口座が記載されていますので、**6月14日（金）正午までにお振込みください。**

お振込先は、本参加登録システム Payvent が利用している決済代行会社が指定する銀行口座（stripe（ストライプ））へのお振込みとなります。

※同じアドレス宛に Zoom の URL をご連絡いたしますので、自動返信メールの受信を必ずご確認ください。

4. 視聴登録用 URL を入力されたメールアドレス宛に 6 月 14 日（金）夕方から順次お送りいたします。視聴登録用 URL から「ウェビナー登録」の登録ページを開き、登録時と同じお名前とメールアドレス、補綴歯科学会会員番号をご入力ください。登録後、no-reply zoom.us から参加用のメールが届きます。

参加・視聴方法

上記の 2 段階目の登録終了後に no-reply@zoom.us から届きましたメールからご参加ください。メール下段の「ウェビナーに参加」を押すか、URL をクリックしてください。

当日は 30 分前より入室可能予定です。

参加する皆様へ

1. 使用ツールおよび登録のお願い

本専門医研修会は Zoom 会議システム（ウェビナー）を利用します。専門医研修会開催までに各自にて事前にお持ちの PC、タブレット、または携帯端末等へ Zoom アプリのインストールおよび事前登録の氏名とメールアドレスの入力をお願いいたします。

※アプリからご視聴の際は 6 月 14 日（金）に配信されるメール記載の ID、パスコードをご入力願います。

2. オンデマンド配信について

1. **視聴用 URL は、運営事務局より 6 月 18 日（火）に参加登録者に一斉に E メールにて送信**されます。

2. なお、フリーメールや携帯キャリアのメールは迷惑メールフォルダへサーバーが自動振り分けする場合がありますので、**受信トレイ以外もご確認**いただきますようお願いいたします。

事務局・お問い合わせ

1 研修会・単位・参加証・領収書について

公益社団法人日本補綴歯科学会事務局

〒105-0014

東京都港区芝 2-29-11 高浦ビル 4 階

TEL：03-6722-6090

hotetsu-gakkai01@hotmail.com

2 参加登録について

九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座 インプラント・義歯補綴学分野医局内

〒812-8582 福岡県東区馬出 3 丁目 1-1

担当：森川

TEL：092-642-6441

(不定期営業のためお問い合わせはできるだけメールにてお願い致します)

E-mail：info@hotmail.com

※自動返信メールが届かないというお問い合わせが増えております。お問い合わせ前に必ず「迷惑メールフォルダ」の中もご確認ください。

2. 専門医研修会タイムテーブル

10:00-10:50

【講演1】補綴歯科治療における口腔機能検査の活用法と患者へのフィードバック法

座長：永尾 寛（中国・四国支部）

岩田 好弘（修練医・認定医・専門医制度委員会）

演者：太田 緑（東京歯科大学）

10:50-11:40

【講演2】舌圧を補綴歯科治療の成功に役立てよう

座長：永尾 寛（中国・四国支部）

岩田 好弘（修練医・認定医・専門医制度委員会）

演者：吉川 峰加（広島大学）

11:40-12:00

【質疑応答】

3. 専門医研修会抄録

専門医研修会 座長抄録

座長

永尾 寛 (中国・四国支部)

徳島大学大学院医歯薬学研究部

岩田 好弘 (修練医・認定医・専門医制度委員会)

日本大学松戸歯学部

Chairperson

Kan NAGAO

Tokushima University Graduate School of Biomedical Sciences

Yoshihiro IWATA

Nihon University School of Dentistry at Matsudo

今後の歯科保健医療の提供体制の目指すべき姿として、厚生労働省から2017年に「歯科保健医療ビジョン」が示された。その中で、今後は機能回復や歯科疾患等の予防に対する需要が増加することが予想され、かかりつけ医の役割として口腔機能に着目した歯科医療を提供する必要性を示した。

また、2018年度歯科診療報酬改定では、口腔機能の維持増進という視点で、オーラルフレイルに対応した新病名として「口腔機能低下症」が採用され、口腔機能精密検査料と管理料の算定が可能になった。

さらに、2020年に日本歯科医師会より「2040年を見据えた歯科ビジョン - 令和における歯科医療の姿 -」が刊行され、重点的に取り組む課題として、最後まで幸せに生き残るための食支援として、オーラルフレイル対策と併せて、口腔機能の維持向上に取り組む必要性が示され、今後さらに、口腔機能検査を日常臨床へ活用する必要性が高まると考える。

このような状況を鑑みて、本研修会では、太田緑先生と吉川峰加先生を講師にお招きし、口腔機能検査を補綴歯科治療にどのように活用できるか、そして、数値の解釈の仕方など臨床現場にフィードバックできる内容について解説していただく。

トピックス

- 口腔機能
- 機能回復
- フィードバック方法

永尾 寛先生



徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔顎顔面補綴学分野

略 歴

1988年 徳島大学歯学部卒業
1990年 徳島大学歯学部附属病院 助手
1993年 徳島大学歯学部 助手
2002年 徳島大学歯学部附属病院 講師
2008年 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部
准教授
2017年 徳島大学病院 病院教授（併任）

委員等

公益社団法人日本補綴歯科学会 専門医・指導医
公益社団法人日本補綴歯科学会 修練医・認定医・専門医認定
委員会 副委員長

岩田 好弘先生



日本大学松戸歯学部クラウンブリッジ補綴学講座

略 歴

2011年 日本大学松戸歯学部卒業
2016年 日本大学大学院松戸歯学研究科歯学専攻 修了
2016年 日本大学松戸歯学部 顎口腔機能治療学講座 助手
(専任扱)
2018年 厚生労働省 医政局 歯科保健課
2018年 厚生労働省 子ども家庭局 母子保健課
2019年 厚生労働省 近畿厚生局 健康福祉部 医事課
2020年 日本大学松戸歯学部 口腔健康科学講座 顎口腔機
能治療学分野 専修医
2021年 日本大学松戸歯学部 クラウンブリッジ補綴学講座
助教

委員等

公益社団法人日本補綴歯科学会修練医・認定医・専門医制度委
員会 委員
専門医等
公益社団法人日本補綴歯科学会補綴歯科専門医
公益社団法人日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト

専門医研修会 講演 1 抄録

補綴歯科治療における口腔機能検査の活用法と 患者へのフィードバック法

演 者

太田 緑 (東京支部)

東京歯科大学老年歯科補綴学講座

The oral function inspection in the prosthodontic treatment and how to provide feedback to the patients

Midori OHTA

The Department of Removable Prosthodontics and Gerodontology, Tokyo Dental College

補綴歯科治療は咀嚼機能をはじめとする口腔機能の回復が目的の1つであるが、治療の成否は患者の満足度といった主観的評価に拠るところが大きい。口腔機能検査を実施することで、治療開始前の状態を数値化することができ、患者各々の目標を定めることができる。また、治療効果を客観的に評価することが可能となるため、補綴歯科治療前後に口腔機能検査を実施する臨床的意義は大きい。

Manly が 1950 年に篩分法による咀嚼能率の測定法を提唱して以降、さまざまな口腔機能検査法が研究されてきた。その後、検査機器の発展により簡便かつ迅速に検査することが可能となり、2016年に有床義歯咀嚼機能検査が保険導入された。にも関わらず、2022年社会医療診療行為別統計では、新製有床義歯管理料(困難な場合)の算定が11万件以上であるのに対し、有床義歯咀嚼機能検査は8千件程度しか算定されていない。口腔機能検査の中でも比較的認知度の高いグミゼリーを用いた咀嚼機能検査でも実施率が高いとは言えず、臨床の場での口腔機能検査の実施は極めて少ないのが現状であろう。口腔機能検査が行われない背景には、検査の手間だけでなく、検査結果の治療計画への活用方法がわからなかったり、患者への検査結果のフィードバックが難しかったりといったことがあるものと思われる。

本研修会では、補綴歯科治療で口腔機能検査を行うメリットに加え、咀嚼機能検査をはじめとした口腔機能検査の実施法、結果の数値の解釈の仕方を解説したい。加えて、検査結果をどのように補綴歯科治療に活用できるのか、患者へのフィードバックの方法についても紹介したい。

トピックス

- 口腔機能検査
- 咀嚼機能検査
- 補綴治療の評価

太田 緑先生



東京歯科大学老年歯科補綴学講座

略 歴

2010年 東京歯科大学卒業

2010年 東京歯科大学千葉病院 臨床研修歯科医

2015年 東京歯科大学大学院歯学研究科歯学専攻 修了

2015年 東京歯科大学老年歯科補綴学講座 助教

2019年 ジュネーブ大学高齢者歯科学・有床義歯補綴学講座 長期海外出張

2022年 東京歯科大学老年歯科補綴学講座 講師

委員等

公益社団法人日本補綴歯科学会 渉外委員会

一般社団法人日本老年歯科医学会 渉外委員会

専門医等

日本補綴歯科学会専門医

日本老年歯科医学会認定医

専門医研修会 講演2抄録

舌圧を補綴歯科治療の成功に役立てよう

演 者

吉川 峰加 (中国・四国支部)

広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学

Tongue pressure measurement for successful prosthetic dentistry treatment

Mineka YOSHIKAWA

Department of Advanced Prosthodontics, Graduate School of Biomedical and Health Sciences, Hiroshima University

口腔機能の低下がフレイルや低栄養のリスクを高めることは近年の大規模調査より明らかになっている。健康長寿を語る時、すべてのライフステージにおいて「口腔機能」は大きく関わる。オーラルフレイル・フレイルから要介護までの悪い流れを早期に発見・対応し、その流れをくい止めたり、緩やかにすることの可能な医療専門職のひとつに歯科があり、特に補綴歯科医は「口腔機能の維持・改善」という点で強いスキルを持つ。

舌は咀嚼・嚥下において重要な役割を担う。食物を口腔へ取り込み、咀嚼しながら咽頭へ食塊を送り込む場面で必要になるのが「舌圧」である。2011年より医療機器として使用可能となったJMS舌圧測定器（JMS, 広島）は、舌機能の一端を数値で表すことが可能である。現在では歯科医師・歯科衛生士のみならず、多職種が同装置を臨床現場で活用している。

安定した舌運動を行ううえで、咬合支持はもちろんのこと、適切な顎間距離や義歯床形態などが関与する。われわれ補綴歯科医は、一番得意な「補綴歯科治療」において舌圧を活用しながら、さまざまなライフステージの国民に対し、「口から食べる喜び」「美味しく楽しく安定した栄養摂取」をもたらし、健康長寿へ向けた行動変容に積極的に携わっていくことができる専門職である。

今回は、患者のライフステージにあわせた、補綴歯科医ならではの、「補綴歯科治療と舌圧活用法」について具体例を用いてお話しさせていただく。

トピックス

- オーラルフレイル
- 口腔機能低下症
- 舌圧

吉川 峰加先生



広島大学大学院医系科学研究科先端歯科補綴学

略 歴

- 2000年 広島大学歯学部卒業
- 2004年 広島大学大学院博士課程修了
- 2004年 財)長寿科学振興財団在外研究員
米国イリノイ州ノースウエスタン大学コミュニケーション科学障害学部
- 2005年 広島大学病院 医員 (研修医)
- 2006年 広島大学病院 医員
- 2007年 広島大学病院 歯科診療医
- 2008年 広島大学大学院医歯薬学総合研究科先端歯科補綴学研究室助教
- 2011年 米国カルフォルニア州立ロサンゼルス校歯学部ワイントロップセンター
留学
- 2012年 広島大学大学院 准教授

研究内容

歯科補綴学, 高齢者歯科学, 摂食嚥下リハビリテーション学

専門医・認定医等

- 公益社団法人日本補綴歯科学会 専門医および指導医
- 一般社団法人日本老年歯科医学会 認定医および認定医指導医
- 一般社団法人日本老年歯科医学会 専門医および専門医指導医
- 一般社団法人日本老年歯科医学会 摂食機能療法専門歯科医師
- 一般社団法人日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士
- 特定非営利活動法人日本咀嚼学会 健康咀嚼指導士

学会活動

- 日本補綴歯科学会 (編集委員会・副委員長, 中国・四国支部代議員)
- 日本老年歯科医学会 (表彰委員会・委員, 倫理審査委員会・委員, 学術委員会・委員)
- 日本顎口腔機能学会 (常任理事)
- 日本咀嚼学会 (理事, 編集委員会・委員, 広報委員会・委員)
- 日本神経摂食嚥下・栄養学会 (理事, 編集委員会・委員)
- 日本嚥下障害臨床研究会 (世話人)

— 本誌を複製される方に —

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、(社)日本複製権センターと包括複製許諾契約を締結されている企業の従業員以外は、図書館も著作権者から複製権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

著作物の引用・転載・翻訳のような複製以外の許諾は、直接本会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル

一般社団法人 学術著作権協会

FAX : 03-3475-5619 E-mail : info@jaacc.jp

ただし、アメリカ合衆国における複製については、次に連絡して下さい。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923, USA

Phone : 978-750-8400 Fax : 978-646-8600

— 日補綴会誌への投稿方法 —

投稿希望の方は、下記の URL をご参照のうえ、

ご不明な点は学会事務局（電話：03-6722-6090）までお問合せください。

<http://www.hotetsu.com/t1.html>

日本補綴歯科学会 令和6年度第1回専門医研修会抄録集

令和6年6月16日発行

発行者 窪木拓男

編集 公益社団法人 日本補綴歯科学会

学会ホームページ /<http://www.hotetsu.com/>

〒105-0014 東京都港区芝2丁目29番11号

高浦ビル4階

公益社団法人 日本補綴歯科学会

電話 03(6722)6090
